

令和5年度 岩手県立盛岡農業高等学校 特別専攻科（農業科）学校案内

Iwate Prefectural Morioka Agricultural High School



○農業に従事しながら学べる ○普通科からも入学できる
新規就農者、農業を志す人を支援する社会人教育学科

〒020-0605 岩手県滝沢市砂込1463番地

TEL 019-688-4211 (代表)
FAX 019-688-4215

E-mail: moa-h@iwate-ed.jp

URL: <https://www2.iwate-ed.jp/moa-h/>

盛岡農業高校 検索

1 教育目標

高等学校卒業後の農業後継者や新規就農者、農業志向者等に対し、農業経営に関する適切な指導・助言を行うとともに、幅広い教養と専門的な農業技術や経営能力の向上を図り、地域社会に貢献する実践的な農業の担い手を育成する。



2 沿革・概要

(1) 沿革

本校は、明治12年に獣医学舎として設立。昭和23年に岩手県立盛岡農業高等学校と改称され、昭和39年には文部省（現文部科学省）から自営者養成農業高等学校拡充整備校の指定を受け、農業教育と農業自営者養成を行い、現在に至っている。

昭和45年10月20日、文部省通知、農業特別専攻科設置要項に基づき、全国に9つの農業特別専攻科が設置された。本校の特別専攻科もその一つで、翌昭和46年度から入学生募集を開始し、令和4年度末現在、441名の修了生を輩出している。

- (2) 学科・定員 特別専攻科（農業科） 1学年20名 2学年20名
- (3) 修業年限 2か年
- (4) 出願資格 ①令和6年3月高等学校卒業見込みの者
②高等学校またはこれに準ずる学校を卒業した者
③高等学校を卒業した者と同等程度の学力があると認められ、現に農業に従事している者または従事しようとしている者
- (5) 諸経費 授業料（月額）2,700円 諸納金合計（1年次分）30,000円

3 重点目標

次の事項に重点を置き、実践的教育活動を推進する。

- (1) 学生の実態並びに経営状況に応じた個別指導を徹底し、家庭との連携を深める。
- (2) 地域社会の担い手であることの自覚を深め、経営者としての資質を高める。
- (3) 各種研修の機会をとおして、幅広い視野を持った人材の育成に努める。
- (4) 学生間の交流を図るとともに、各個人の理解に努め、相談的指導を行う。

4 教育の特色

学習形態は、科目学習、課題研究、研修学習の3つの柱に重点を置いて実施している。

(1) 科目学習（年間登校日：約60日）

- ア 原則、週2日登校し、日課時限に従い受講する。
- イ 必修科目に加え、選択科目は個々の経営内容に応じた科目を履修し、講義と実験実習等をとおして、専門的かつ実践的な知識と技術を習得する。

(2) 課題研究

- ア 研究内容
農業経営等の現場において直面する課題を研究テーマとして取り上げ、課題解決学習を行う。また、将来の就農に備えて必要となる各種資格取得のための学習活動を行う。
- イ 巡回指導
担当教員が随時巡回し、学生の実情に合わせた指導助言を行う。

(3) 研修学習

- ア 農業視察研修（月1回）
県内の先進農家、農業関連事業所、研究機関等の視察研修を行い、地域農業の理解を深めながら自らの経営能力の向上を図る。
- イ 研修旅行（年1回）
県外の農業現場視察と学生間の交流を目的に行い、広い見識を持った経営感覚の育成を図る。
- ウ 農家研修
希望者は、先進農家等における実習研修をとおして実践的な経営知識と専門技術等を習得し、農業経営者としての資質向上を図る。

5 教育課程

教科科目	科目	単位数	1年	2年		
農	必修科目	環境農学概論	1	1		
		農業経済概論	1	1		
		農産物流通概論	1	1		
		農業経営学	2		2	
		土壌肥料学	2		2	
		食品加工学	2	1	1	
		農業機械学	2	1	1	
		農業情報演習	2	1	1	
業	選択科目	作物学	} 8	} 4	} 4	1科目 選択
		園芸学				
		畜産学				
		植物病理学	} 2	} 2		1科目 選択
		家畜繁殖学				
		植物育種学	} 1		} 1	1科目 選択
		動物育種学				
研修学習		6	3	3		
課題研究		28	14	14		
ホームルーム活動		2	1	1		
合計		60	30	30		

※ 課題研究は、自宅での農業実践および研究活動とする。

6 年間行事

- 4月 入学式、学生交流会、県内視察研修①、巡回指導（11月まで）
- 5月 県内視察研修②
- 6月 県内視察研修③
- 7月 県内視察研修④、県内畜産共進会見学
- 8月 県内視察研修⑤
- 9月 県外視察研修旅行
- 10月 県内視察研修⑥、盛農祭、牛削蹄師講習会
- 11月 家畜人工授精師講習会
- 12月 家畜商講習会、専攻科入試、合格発表
- 1月 県農業青年の集い参加
- 2月 課題研究学習発表会、家畜体内受精卵移植講習会
- 3月 卒業式・修了式、専攻科二次募集入試、合格発表

7 在籍学生の状況

◆在籍学生数

	畜産	園芸	合計
1学年	4名	1名	5名
2学年	2名	0名	2名
合計	6名	1名	7名

◆在籍学生の就農地域

	現住所
1学年	盛岡市、滝沢市、二戸市、雫石町、岩手町
2学年	岩手町2



▲リモート講義（和牛ゲノム改良）



▲県内研修（久慈市 酪農家）



▲巡回指導（園芸：キュウリ栽培）



▲県外研修（鹿児島県 野菜農家）



▲県外研修（鹿児島県 全国和牛共進会）

8 課題研究 題目 (抜粋)

- ◎畜産 資源循環型の肉牛肥育経営を目指して
馬の飼養管理と育成調教について
乳牛の繁殖成績の向上を目指して
我が家の農業経営システムの作製を目指して
- ◎園芸 黒千石大豆の栽培特性の理解と収穫後の加工技術について



修了生からのメッセージ

八幡平市松尾 佐々木玲哉さん(令和3年度修了) 就農2年目

特別専攻科では、講義・実習等をとおして深く畜産を学ぶことができました。また、月1回の県内研修は勉強になることばかりでとても充実した学校生活でした。さらに、在学中に取得した家畜人工授精師の資格を用いて、我が家の酪農経営を頑張っています。昨年度から牛群改良に取り組み、産乳量アップを目指して、更に研鑽を積んでいきたいと思っています。



9 入試ガイド

◆入試者選抜日程

願書の受付	令和5年11月13日(月)～11月27日(月)
試験日	令和5年12月6日(水)
合格発表	令和5年12月13日(水)

◆試験内容

作文、面接

◆出願書類

- ア 入学願書 …………… 所定の用紙に必要事項を記入すること
- イ 入学選考料納付書 …… 所定の用紙に岩手県収入証紙950円を貼付すること
- ウ 受検票 …………… 所定の用紙に記入すること
- エ 履歴書・身上書 …… 所定の用紙に必要事項を記入すること。また、最近3か月以内に撮影した上半身・無帽の写真(サイズ縦40mm×横30mm)を貼付すること
- オ 調査書 …………… 在籍高等学校長の作成したもの。
(すでに高等学校を卒業している者は、最終卒業学校の卒業証明書)

◆二次募集について

合格者の数が募集人員に満たない場合、下記日程で二次募集を行います。

願書の受付	令和6年2月19日(月)～3月4日(月)
試験日	令和6年3月11日(月)
合格発表	令和6年3月18日(月)

お問い合わせは

岩手県立盛岡農業高等学校

〒020-0605 岩手県滝沢市砂込1463番地
TEL(019)688-4211 FAX(019)688-4215
<https://www2.iwate-ed.jp/moa-h/>

盛岡農業高校 検索

◆交通アクセス

